

# 臨床検査学教育

JAPANESE JOURNAL OF MEDICAL TECHNOLOGY EDUCATION

## 第13回 日本臨床検査学教育学会学術大会 抄録集

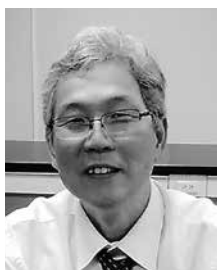
- 会 期 平成30年8月17日(金)～19日(日)
- 会 場 北海道大学 学術交流会館
- テ ー マ 多様性の創成：進化する臨床検査技師教育  
— 教育と学びの真髄を探る —
- 大 会 長 山口 博之 (北海道大学)
- 副 大 会 長 古閑 公治 (熊本保健科学大学)
- 実行委員長 加賀 早苗 (北海道大学)
- 副実行委員長 菅野 正彦 (福島県立総合衛生学院)
- 事 務 局 長 政氏 伸夫 (北海道大学)
- 担 当 校 北海道大学 医学部保健学科 検査技術科学専攻  
北海道大学 大学院保健科学研究院 病態解析学分野











## 第13回日本臨床検査学教育学会学術大会 開催にあたり

第13回日本臨床検査学教育学会学術大会

大会長 山口 博之(北海道大学 大学院保健科学研究院 病態解析学分野)

此度、第13回日本臨床検査学教育学会学術大会を北海道大学(学術交流会館)にて開催することになりました。教育そのものについて踏み込んで深く考えるための、有意義な場となることを願っています。

今回の学会テーマは、「多様性の創成：進化する臨床検査技師教育」。健康と医療に関する包括的な知識と技能を横断的に身につけた学生の進路は、極めて多岐に渡ります。病院のみならず製薬や食品系さらにそれ以外の一般企業も、就職先のターゲットです。就職先の多様化からは、検査技術科学の学びが学生の視野を着実に広げているということと、受け入れる側の期待の大きさを計り知ることができます。このような実情を踏まえ、置かれた場に適応しその職種の中核を成していくための人材をいかに育てていくのか、多角的な視点から議論する機会を設ける必要性を痛感しているからこそ、このようなテーマといたしました。

1日目は、まず「臨床検査技師教育課程の指定規則の改定に向けた動向」に関する緊急講演、「フィンランドの教育から学ぶ」と「国臨教の取り組みと日本臨床検査学教育協議会との連携」に関する二つの教育講演、その後、「それぞれの主張、臨床検査学教育の可能性を探る—短大・専門学校・大学(私立・国立)の果たす役割と連携そして企業ニーズ—」と題してシンポジウムを行います。2日目は、午前中に教員と学生による一般演題(101演題)、午後から、「大学教育とは何か」特別講演、「認知症検査における臨床検査技師の役割」教員研修会・学生向け講演会、「教育と研究の両立、ロールモデルから学ぶ」と題した二つの教育講演、一般演題優秀賞受賞式を経て、分科会を開催します。最終日は、「医学教育学会共催シンポジウム PBL テュートリアル入門 ~学生役の体験とテュータの役割について~」と題したシンポジウム2、「在宅医療と臨床検査」と題した教育講演、その後、クロージング・トーク・閉会式。多様性を担保するための教育とは何か、多様な検査教育に関わる機関の連携をどのようにしていくのか、少子化の中で教育機関が生き残るためにどのように協力・協調していくべきなのか、教育とは何か。これら深遠な命題を個々に深く考えられるような、また学び合えるような、仕掛けを施したつもりです。

今一度、臨床検査技師の教育機関が、それぞれの立場を超越し連携・協力することで生まれる次世代を見据えたより実り多い教育のあり方について、考えてみても良いのではと思います。臨床検査技師育成における高等教育のあり方そのものについて、今一度立ち止まって考えられるような、そんな場になることを切に願います。

最後に、担当校一同は東北・北海道支部幹事校と綿密に連携し、皆様をお迎えする準備を進めていきますので、多くの皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

日本臨床検査学教育学会学術大会  
年次別開催一覧

回数	会 期	大会長(所属)	会 場
1	平成18年 8月23日～25日	三村 邦裕 (千葉科学大学)	東京医科歯科大学
2	平成19年 8月27日～29日	加藤 亮二 (香川県立保健医療大学)	香川県県民ホール
3	平成20年 8月20日～22日	大澤 進 (九州大学)	九州大学医学部 百年講堂
4	平成21年 8月19日～21日	佐藤 健次 (東京医科歯科大学)	東京医科歯科大学
5	平成22年 8月18日～20日	木田 和幸 (弘前大学)	弘前大学大学院保健研究科
6	平成23年 8月17日～19日	渡邊 正友 (新潟医療技術専門学院)	新潟大学医学部保健学科
7	平成24年 8月22日～24日	寺平 良治 (藤田保健衛生大学)	名古屋国際会議場
8	平成25年 8月26日～28日	岩谷 良則 (大阪大学)	大阪大学 コンベンションセンター
9	平成26年 8月20日～22日	山藤 賢 (昭和医療技術専門学校)	東京都大田区産業プラザ
10	平成27年 8月19日～21日	奥村 伸生 (信州大学)	信州大学医学部 地域保健推進センター
11	平成28年 8月31日～9月2日	坂本 秀生 (神戸常盤大学)	神戸常盤大学 神戸国際展示場
12	平成29年 8月23日～25日	松下 誠 (埼玉県立大学)	埼玉県立大学
13	平成30年 8月17日～19日	山口 博之 (北海道大学)	北海道大学 学術交流会館

## 第13回日本臨床検査学教育学会学術大会

- 日 程 2018年(平成30年)8月17日(金)～19日(日)
- 会 場 北海道大学 学術交流会館
- 担 当 校 北海道大学 医学部保健学科 検査技術科学専攻  
北海道大学 大学院保健科学研究院 病態解析学分野
- 大 会 長 山口 博之(北海道大学)
- 副大会長 古閑 公治(熊本保健科学大学)
- 実行委員長 加賀 早苗(北海道大学)
- 副実行委員長 菅野 正彦(福島県立総合衛生学院)
- 事務局長 政氏 伸夫(北海道大学)
- 学会テーマ 多様性の創成：進化する臨床検査技師教育  
—教育と学びの真髄を探る—
- 主 催 一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
- 共 催 北海道大学
- 後 援 厚生労働省  
文部科学省  
一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会  
一般社団法人 北海道臨床衛生検査技師会
- 事 務 局 北海道大学大学院保健科学研究院内  
〒060-0812 札幌市北区北12西5

## 参加者のみなさまへ

---

- 参加者の受付は、北海道大学学術交流会館 1階ホール総合受付でお済ませください。  
(受付時間8月17日 9:30～17:00、8月18日 8:30～18:30、8月19日 8:30～12:30)
- 参加費は以下の通りです。  
学 術 会 員：10,000円(抄録集代含む)  
非学術会員：12,000円(抄録集代含む)  
協議会加盟校以外の日本臨床検査技師会員：3,000円(要会員証提示)(抄録集1,000円別売)  
学 生：2,000円(要学生証提示)(抄録集代含む)  
研究生：2,000円(要研究生証提示)(抄録集代含む)
- 会場内では、参加証を必ず見えるところに付けてください。
- 会場までの詳細については会場アクセス図でご確認下さい。

## 情報交換会について

---

- 8月17日(金)18:00～19:00に、シンポジウム1に引き続き、北海道大学学術交流会館 1階ホールにて開催いたします。
- 情報交換会の参加費は1名1,000円です。参加受付時に総合受付でお支払いください。

## 司会・座長のみなさまへ

---

- ご担当のセッション開始15分前までに会場内の次座長席にご着席ください。
- ご担当時間になりましたら、司会・座長席にご着席ください。
- 特別講演・シンポジウム・緊急講演・教育講演・教員研修会での発表時間につきましては司会者から指示してください。教員および学生演題(一般演題)は、発表7分、質疑応答3分になります。発表終了時間の1分前に1回、終了時に2回、質疑応答時間の終了時に3回、合図をさせていただきます。
- 時間厳守での発表、速やかな進行に、ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。

## 発表者のみなさまへ

---

- 特別講演・シンポジウム・緊急講演・教育講演・教員研修会
  - 発表スライドの映写確認を行いますので、ご発表30分前までには、必ず総合受付にお越しください。
  - 発表スライド・動画は、ご自身のPCまたはUSBに入れて、発表会場に直接お持ち込み戴きます。
  - ご自身のPCでご発表される場合でも、必ずバックアップファイルをUSBに保存しご持参ください。



- プロジェクターとの接続は、ミニ D-Sub15 ピンあるいは HDMI となります。それ以外の接続アダプターが必要な方は、ご自身でご用意をお願いします。
- 会場に設置する PC の OS は Windows10 (64bit)、ソフトウェアは Microsoft Office Home & business 2016 になります。
- 発表時間については、司会者の指示に従ってください。

### ●一般演題

- 発表時間は、発表7分、質疑応答3分となります。
- 発表は、すべて Microsoft PowerPoint による PC 発表のみとなります。
- ご自身の PC の持ち込み発表は一切できません。
- スライド枚数には制限はありません。動画は動作の保証はできません。
- 発表スライドは、すべて USB に保存してご持参してください。
- PC の OS は Windows10 (64bit)、ソフトウェアは Microsoft Office Home & business 2016 になります。
- PC センターで各会場別 PC にスライドファイルを保存し、動作確認を行います。(係がサポートします。)
- PC センターを、17日(金)は9:30～17:00に、18日(土)は8:30～12:10に開設します。
- 18日(土)9:00～10:00のセッションで発表される方は、必ず17日(金)中に発表スライドの登録・確認を終了してください。(10:05以降のセッションで発表される方も、17日(金)にスライド登録・確認が可能です。)
- 18日(土)の午前10:05以降のセッションで発表される方は、必ずひとつ前のセッション終了時までにはスライド登録・確認を行ってください。
- スライドデータ等は、発表後、事務局の責任で消去します。

### 優秀発表賞について

---

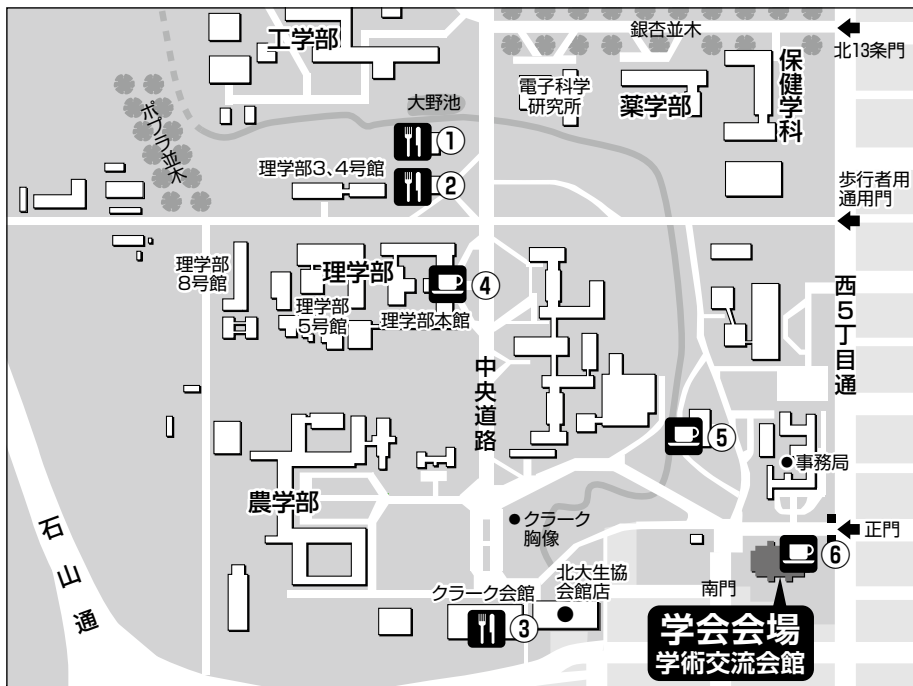
- 本年も学生の発表に対し、教育効果を高めることを目的に、優秀発表賞を設けました。
- 学生演題のセッションごとに優秀な発表を行った学生1名に優秀発表賞を授与します。
- 選考は、構成、語句、声の大きさ・明瞭さ・スピード、スライドの完成度・美しさ、質疑応答の的確さ、内容を含む総合評価の各項目について、審査員の評価を集計して行います。
- 表彰は、8/18(土)教員学生合同研修会終了後に17:00より第1会場講堂にて行います。

### 科目別分科会について

---

- 科目別分科会は、協議会主催のため、詳細につきましては、追って協議会より連絡がいくことと思いますので、ご了承いただき、各自対応願います。

## 大学構内のレストランについて(学術交流会館からの所要時間)



- ① エンレイソウレストラン「エルム」…………… 土日定休 (徒歩約 12分)  
 ② 中央食堂 …………… 日定休 (徒歩約 12分)  
 ③ クラーク食堂 …………… 日定休 (徒歩約 5分)  
 ④ 理学部総合博物館ミュージアムカフェ ぽらす… 月定休 (徒歩約 10分)  
 ⑤ 百年記念会館北大マルシェ …………… 火定休 (徒歩約 3分)  
 ⑥ 北大交流プラザエルムの森 …………… 年中無休 (徒歩約 1分)

※大学周囲にも多数の飲食店がございます。

## 会場アクセス図

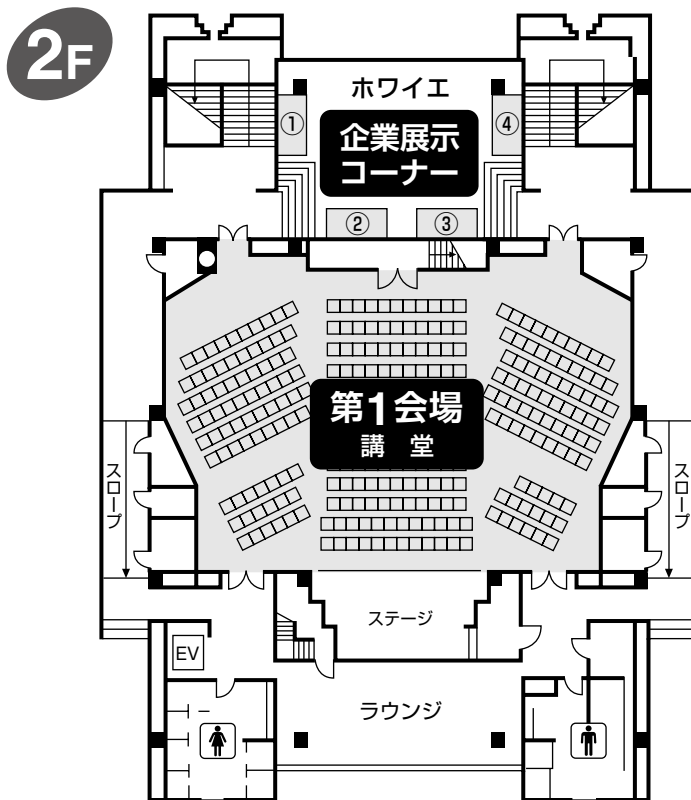
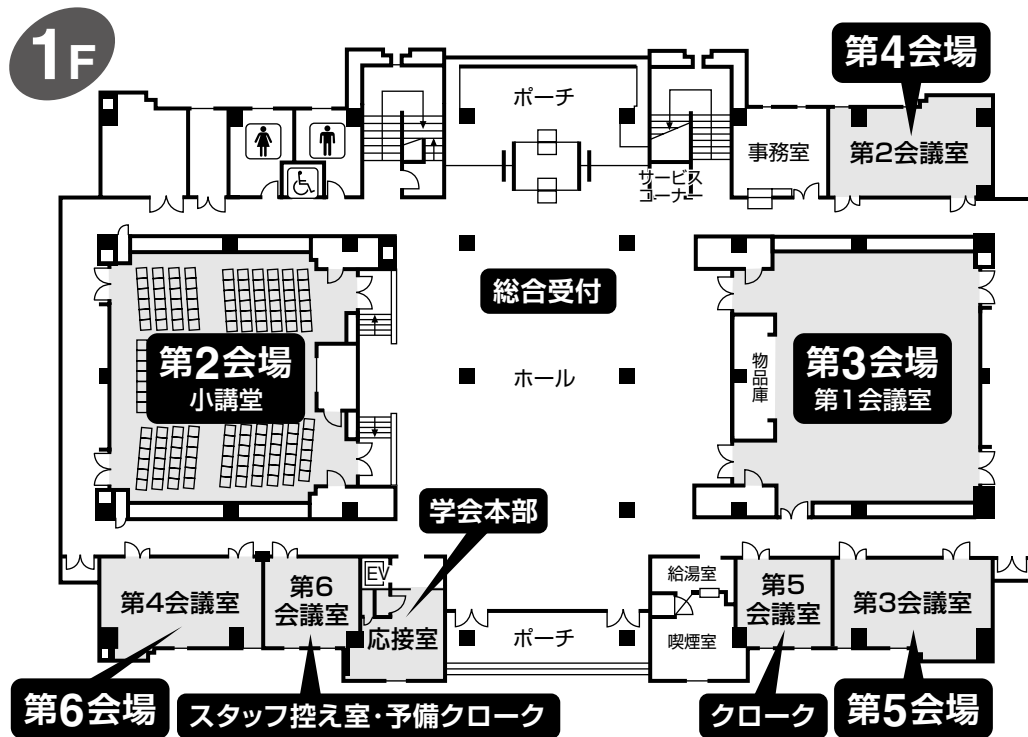


### 北海道大学学術交流会館へのアクセス

- J R …… 「JR札幌駅」下車 北口から徒歩約5分
- 地下鉄 …… 地下鉄南北線にて「さっぽろ駅」下車 → 「JR札幌駅」北口まで徒歩約5分  
→ 「JR札幌駅」北口から徒歩約5分  
地下鉄東豊線にて「さっぽろ駅」下車 → 「JR札幌駅」北口まで徒歩約8分  
→ 「JR札幌駅」北口から徒歩約5分
- 車 …… 札幌自動車道札幌北IC → 西5丁目通りを南に約15分

※当施設には駐車場がございません。最寄りの公共交通機関のご利用をお願いいたします。

### 会場案内図



**1日目** **8月17日** **金** 会場：北海道大学 学術交流会館

	第1会場 講堂	第2会場 小講堂(サテライト)	第5会場 第3会議室	ホール	
9:30				9:30	9:30
10:00			10:00~12:00	17:00	17:00
11:00			理事会	受付	PCセンター (一般演題のみ受付)
12:00	12:00~12:50 評議員会				
13:00	12:55~13:00 開会式				
13:00	13:00~14:00 <b>緊急講演</b> 臨床検査技師教育内容の見直しに関する動向 講演者：坂本 秀生 (神戸常盤大学保健科学部) 司会：奥村 伸生 (信州大学学術研究院保健学系)				
14:00	14:00~14:30 <b>教育講演1</b> フィンランドの教育 —そのしくみと成果 講演者：横澤 宏一 (北海道大学大学院保健科学研究院) 司会：伊藤 巧一 (弘前大学大学院保健学研究科)				
14:00	14:30~15:00 <b>教育講演2</b> 国臨教の取り組みと日本臨床検査学教育協議会との連携 講演者：廣畑 聡 (岡山大学大学院保健学研究科) 司会：細井 英司 (徳島大学大学院医歯薬学研究部)				
15:00	15:15~18:00 <b>シンポジウム1</b> それぞれの主張、臨床検査学教育の可能性を探る 一短大・専門学校・大学(私立・国立)の果たす役割と 連携そして企業ニーズ— 講演者：高橋 志達 (ミヤリサン製薬事業戦略部) 山藤 賢 (昭和医療技術専門学校) 永田 浩三 (名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学専攻) 伊藤 昭三 (新渡戸文化短期大学) 三村 邦裕 (千葉科学大学危機管理学部) 司会：戸塚 実 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科先端分析検査学) 永瀬 澄香 (川崎医療福祉大学医療技術学部)				
16:00					
17:00					
18:00				18:00~19:00	情報交換会
19:00	19:00 クローク終了				

**2日目 8月18日(土) 会場：北海道大学 学術交流会館**

	第1会場 講堂	第2会場 小講堂(サテライト)	第3会場 第1会議室	第4会場 第2会議室	第5会場 第3会議室	第6会場 第4会議室
8:30	8:30~18:30 受付 / 8:30~12:10 PCセンター (一般演題のみ受付) [場所：ホール]					
9:00	9:00~10:00 一般演題 院生 1 院 01 ~ 06	9:00~10:00 一般演題 教員 1 教 01 ~ 06	9:00~10:00 一般演題 教員 3 教 13 ~ 18	9:00~10:00 一般演題 教員 6 教 30 ~ 35	9:00~10:00 一般演題 学部 3 学 13 ~ 18	9:00~9:50 一般演題 学部 6 学 29 ~ 33
10:00	10:05~11:05 一般演題 院生 2 院 07 ~ 12	10:05~11:05 一般演題 教員 2 教 07 ~ 12	10:05~11:05 一般演題 教員 4 教 19 ~ 24	10:05~11:05 一般演題 学部 1 学 01 ~ 06	10:05~10:55 一般演題 学部 4 学 19 ~ 23	10:05~10:55 一般演題 学部 7 学 34 ~ 38
11:00	11:10~12:00 一般演題 院生 3 院 13 ~ 17	11:10~12:00 一般演題 院生 4 院 18 ~ 22	11:10~12:00 一般演題 教員 5 教 25 ~ 29	11:10~12:10 一般演題 学部 2 学 07 ~ 12	11:10~12:00 一般演題 学部 5 学 24 ~ 28	11:10~12:10 一般演題 学部 8 学 39 ~ 44
12:00						
13:00						
14:00	14:00~15:00 特別講演 “Be gentlemen!” 一北海道大学の目指す大学教育		講演者：名和 豊春 (北海道大学 総長) 司会：齋藤 健 (北海道大学大学院保健科学研究院長)			
15:00	15:00~16:00 教員研修会・学生向け講演会 認知症医療に対応できる 臨床検査技師の育成 ～卒前教育への導入の必要性～		講演者：浦上 克哉 (鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座) 司会：鈴木 英明 (北里大学保健衛生専門学院)			
16:00	16:00~17:00 教育講演 3 教育と研究の両立、 ロールモデルから学ぶ		講演者：石津 明洋 (北海道大学大学院保健科学研究院) 惠 淑萍 (北海道大学大学院保健科学研究院) 司会：千葉 仁志 (札幌保健医療大学)			
17:00	17:00~17:30 授賞式					
18:00	17:45~18:45 分科会 1, 2, 3	17:45~18:45 分科会 4, 5, 6	17:45~18:45 分科会 7, 8, 9	17:45~18:45 分科会 10, 11	17:45~18:45 分科会 12, 13	17:45~18:45 分科会 14, 15
19:00	19:30 クローク終了					

**3日目** **8月19日** 会場：北海道大学 学術交流会館

第1会場 講堂		第2会場 小講堂サテライト	
8:30	8:30~12:30 受付 [場所：ホール]		
9:00	9:00~11:00 <b>シンポジウム 2</b> <b>医学教育学会共催シンポジウム</b> <b>PBL テュートリアル入門</b> <b>～藤田式 PBL (入門編) の紹介～</b> 講演者：大槻 真嗣 (藤田保健衛生大学医学部) 司会：斉藤 邦明 (藤田保健衛生大学大学院医療科学専攻)		
10:00			
11:00	11:00~12:00 <b>教育講演 4</b> <b>臨床検査技師として在宅医療へ参加する</b> 講演者：西成田 睦未 (医療法人社団杏生会文京根津クリニック) 司会：坂本 秀生 (神戸常盤大学保健科学部)		
12:00	12:00~12:45 <b>クロージング・トーク/閉会式</b> <b>私たちはどこに向かうのか</b> 講演・司会進行：山口 博之 (北海道大学大学院保健科学研究院)		
13:00			
14:00	14:00 クローク終了		

## 一般演題 座長一覧

日	セッション	時間	会場	座長
8 月 18 日 (土)	教員1	9:00~10:00	第2会場(小講堂)	市野 直浩(藤田保健衛生大学)
	教員2	10:05~11:05		渡邊 純(弘前大学)
	教員3	9:00~10:00	第3会場(第1会議室)	小西 靖志(京都保健衛生専門学校)
	教員4	10:05~11:05		奥橋 佑基(東京工科大学)
	教員5	11:10~12:00		和田 晋一(香川県立保健医療大学)
	教員6	9:00~10:00	第4会場(第2会議室)	井越 尚子(女子栄養大学)
	院生1	9:00~10:00	第1会場(講堂)	小穴 こず枝(信州大学)
	院生2	10:05~11:05		長田 誠(群馬パース大学)
	院生3	11:10~12:00		藤田 和博(大東文化大学)
	院生4	11:10~12:00	第2会場(小講堂)	橋本 克訓(名古屋大学)
	学部1	10:05~11:05	第4会場(第2会議室)	伊藤 巧一(弘前大学)
	学部2	11:10~12:10		村本 良三(埼玉医科大学)
	学部3	9:00~10:00	第5会場(第3会議室)	久保田 亮(埼玉県立大学)
	学部4	10:05~10:55		野島 順三(山口大学)
	学部5	11:10~12:00		新井 智子(埼玉県立大学)
	学部6	9:00~9:50	第6会場(第4会議室)	川中 洋平(広島国際大学)
	学部7	10:05~10:55		吉岡 治彦(弘前大学)
	学部8	11:10~12:10		藤本 浩章(広島国際大学)



**8月17日(金) 会場：北海道大学 学術交流会館**

10:00～12:00 理事会(第5会場:第3会議室)

12:00～12:50 評議員会(第1会場:講堂)

**第1会場：講堂**

12:55～13:00 開会式

理事長あいさつ 奥村 伸生

大会長あいさつ 山口 博之

13:00～14:00 緊急講演

司会：奥村 伸生(信州大学)

「臨床検査技師教育内容の見直しに関する動向」

坂本 秀生(神戸常盤大学保健科学部 医療検査学科)

14:00～14:30 教育講演1

司会：伊藤 巧一(弘前大学)

「フィンランドの教育 ―そのしくみと成果」

横澤 宏一(北海道大学大学院保健科学研究院)

14:30～15:00 教育講演2

司会：細井 英司(徳島大学)

「国立大学臨床検査技師教育協議会の取り組みと  
日本臨床検査学教育協議会との連携」

廣畑 聡(岡山大学大学院 保健学研究科)

## 15:15～18:00 シンポジウム1

司会：戸塚 実(東京医科歯科大学)  
永瀬 澄香(川崎医療福祉大学)

[ それぞれの主張、臨床検査学教育の可能性を探る  
—短大・専門学校・大学(私立・国立)の果たす役割と連携  
そして企業ニーズ— ]

**S1-1** 臨床検査技師教育を受けた人材の必要性和その可能性

高橋 志達(ミヤリサン製薬株式会社 事業戦略部/東京研究部)

**S1-2** 現在の臨床検査技師教育体制における専門学校の役割とあり方

山藤 賢(昭和医療技術専門学校 学校長)

**S1-3** 次世代リーダーを育成するための臨床検査技師教育のあるべき姿と  
それに向けた取り組み —国立大学の立場から

永田 浩三(名古屋大学大学院医学系研究科 医療技術学専攻 病態解析学講座)

**S1-4** 短大での臨床検査技師教育：本物の臨床検査技師を育てるために

伊藤 昭三(新渡戸文化短期大学 臨床検査学科)

**S1-5** 臨床検査技師教育はどこに向かうのか

—臨床検査技師教育の課題—

三村 邦裕(千葉科学大学 危機管理学部)

18:00～19:00 情報交換会(ホール)

19:00 クローク終了(第5会議室)

8月18日(土) 会場：北海道大学 学術交流会館

第1会場：講堂

9:00～10:00 一般演題(大学院)(院生1)  
10:05～11:05 一般演題(大学院)(院生2)  
11:10～12:00 一般演題(大学院)(院生3)

14:00～15:00 特別講演

司会：齋藤 健(北海道大学)

「“Be gentlemen!” ー北海道大学の目指す大学教育」

名和 豊春(北海道大学 総長)

15:00～16:00 教員研修会・学生向け講演会

司会：鈴木 英明(北里大学保健衛生専門学院)

「認知症医療に対応できる臨床検査技師の育成  
～卒前教育への導入の必要性～」

浦上 克哉(鳥取大学医学部 保健学科生体制御学講座・環境保健学分野)

16:00～17:00 教育講演3

司会：千葉 仁志(札幌保健医療大学)

「教育と研究の両立、ロールモデルから学ぶ」

1 病理・免疫検査学教室の教育と研究

石津 明洋(北海道大学大学院保健科学研究院 病態解析学分野)

2 高度脂質分析ラボにおける教育研究：フロンティアへの挑戦

恵 淑萍(北海道大学大学院保健科学研究院 病態解析学分野)

17:00～17:30 授賞式

17:45～18:45 分科会1, 2, 3

**第2会場：小講堂**

- 9:00～10:00 一般演題(教員)(教員1)  
10:05～11:05 一般演題(教員)(教員2)  
11:10～12:00 一般演題(大学院)(院生4)

---

17:45～18:45 分科会4, 5, 6

**第3会場：第1会議室**

- 9:00～10:00 一般演題(教員)(教員3)  
10:05～11:05 一般演題(教員)(教員4)  
11:10～12:00 一般演題(教員)(教員5)

---

17:45～18:45 分科会7, 8, 9

**第4会場：第2会議室**

- 9:00～10:00 一般演題(教員)(教員6)  
10:05～11:05 一般演題(学部)(学部1)  
11:10～12:10 一般演題(学部)(学部2)

---

17:45～18:45 分科会10, 11

**第5会場：第3会議室**

- 9:00～10:00 一般演題(学部)(学部3)  
10:05～10:55 一般演題(学部)(学部4)  
11:10～12:00 一般演題(学部)(学部5)

---

17:45～18:45 分科会12, 13

**第6会場：第4会議室**

- 9:00～10:00 一般演題(学部)(学部6)  
10:05～10:55 一般演題(学部)(学部7)  
11:10～12:10 一般演題(学部)(学部8)

---

17:45～18:45 分科会14, 15

---

19:30 クローク終了(第5会議室)

---

**8月19日(日) 会場：北海道大学 学術交流会館**

**第1会場：講堂**

---

9:00～11:00 シンポジウム2

司会：齊藤 邦明(藤田保健衛生大学)

医学教育学会共催シンポジウム

[ PBL テュートリアル入門 ～藤田式 PBL (入門編) の紹介～ ]

大槻 真嗣(藤田保健衛生大学 医学部)

---

11:00～12:00 教育講演4

司会：坂本 秀生(神戸常盤大学)

「臨床検査技師として在宅医療へ参加する」

西成田 睦未(医療法人社団杏生会文京根津クリニック)

---

12:00～12:45 クロージング・トーク／閉会式

司会進行：山口 博之(北海道大学)

「私たちはどこに向かうのか」

山口 博之(北海道大学保健科学研究所 病態解析学分野)

---

14:00 クローク終了(第5会議室)

**一般演題(教員セッション) 8月18日(土) 会場: 北海道大学 学術交流会館**
**教員1**

9:00~10:00 第2会場:小講堂

座長:市野 直浩(藤田保健衛生大学)

- 教01** 臨床検査学科の学生に対する ICT ツールを活用した  
アクティブラーニングの効果  
奥橋 佑基 東京工科大学
- 教02** 臨床検査技師と管理栄養士を志す学生による合同症例検討演習の取り組みと  
意識調査  
鈴木 英明 北里大学保健衛生専門学院 臨床検査技師養成科
- 教03** 本校における遺伝子分析科学認定士学生受験の試み  
嶋津 翔太 昭和医療技術専門学校
- 教04** 臨床検査の実践に関わる自動分析法を研究テーマとする大学院教育  
松下 誠 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科
- 教05** 検査技師養成校3校と他の医療学生との医療面接の結果を  
学生側と SP 側からのアンケートを集計、解析して報告する  
神永 教子 NPO 法人 響き合いネットワーク東京 SP の会
- 教06** アクティブラーニング法と e-learning 法の有用性を検証した  
ランダム化クロスオーバー試験  
小林 浩二 北里大学保健衛生専門学院 臨床検査技師養成科

**教員2**

10:05~11:05 第2会場:小講堂

座長:渡邊 純(弘前大学)

- 教07** 本校 I 期生における臨地実習で想定される接遇・マナーについて  
事前と事後の自己評価調査結果の報告  
鈴木 真紀子 静岡医療科学専門大学校 医学検査学科
- 教08** 臨地実習前指導における実習前試験の実施結果とその活用法についての検討  
山口 聡 東洋公衆衛生学院 臨床検査技術学科
- 教09** 臨地実習後の項目別自己評価: OSLE 客観評価との関連性の検討  
服部 圭一郎 筑波大学 医学医療系
- 教10** 臨床検査の現状への理解—チーム医療・在宅医療を知る  
井越 尚子 女子栄養大学栄養学部 保健栄養学学科 栄養科学専攻
- 教11** 本学の臨床検査技師教育における Progress Report on Generic Skills  
(PROG) テストを用いたジェネリックスキルの測定  
高田 智世 愛媛県立医療技術大学 保健科学部 臨床検査学科

**教12 医療系短大臨床検査科学生における自尊感情と自己有用感について**

近末 久美子 川崎医療短期大学 臨床検査科

**教員3**

9:00～10:00 第3会場:第1会議室

座長:小西 靖志(京都保健衛生専門学校)

**教13 細胞写真を用いた講義および試験における準備時間削減の工夫**

郡 秀一 杏林大学 保健学部 臨床検査技術学科

**教14 寄生虫学実習における反転学習とジグソー法によるブレンド型学習の実践評価**

小林 浩二 北里大学保健衛生専門学院 臨床検査技師養成科

**教15 医動物学実習における寄生虫卵標本鏡検査試験の実施紹介**

松本 珠美 熊本保健科学大学 医学検査学科

**教16 バーチャル・スライドを用いた病理組織実習の実施**

望月 眞 帝京大学 医療技術学部 臨床検査学科

**教17 臨床細胞病理学実習の新しい取り組み  
—より実践に近い学内実習をめざして—**

柳田 隆正 藤田保健衛生大学 医療科学部 臨床検査学科

**教18 病理検査学実習におけるブタ臓器解剖マニュアル導入への試み**

安田 聖子 国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 医学検査学科

**教員4**

10:05～11:05 第3会場:第1会議室

座長:奥橋 佑基(東京工科大学)

**教19 実験モデル動物を用いた生化学実習への応用**

庄司 拓哉 大東文化大学 スポーツ・健康科学部

**教20 酵素抗体法を利用した抗核抗体スクリーニングの学内実習導入における効果の検討**

伊藤 さやか 東京工科大学 医療保健学部 臨床検査学科

**教21 免疫検査学実習における学生の思考力を高める課題作成への取り組み**

山本 晃司 埼玉医科大学 保健医療学部 臨床検査学科

**教22 輸血検査学実習用抗血清の希釈と凝集反応について**

石井 恭子 女子栄養大学 栄養学部

**教23 学内実習のための交差混合試験(クロスミキシング試験)疑似検体の作製  
—問題点の検討—**

山口 航 香川県立保健医療大学 保健医療学部

**教24** 微生物のシンプルな演習は看護学部学生の感染症や  
微生物そのものへの意識を改善する

山口 博之 北海道大学大学院保健科学研究院 病態解析学分野

**教員5**

11:10～12:00 第3会場:第1会議室

座長:和田 晋一(香川県立保健医療大学)

**教25** 生理系専門科目におけるアクティブ・ラーニングの実践

平 千明 信州大学 医学部 保健学科

**教26** 有意義な臨地実習に向けた学内心電図実習からの底上げ  
～心電図判読試験の導入～

杉本 恵子 藤田保健衛生大学 医療科学部 臨床検査学科

**教27** 臨床検査技師養成校における生理検査でのパニック値教育

小宮山 恭弘 森ノ宮医療大学 臨床検査学科

**教28** 超音波検査実習における習得度向上の試み

後藤 きよみ 関西医療大学 保健医療学部 臨床検査学科

**教29** これからの超音波検査を牽引する人材の育成を目指す大学院教育

岡田 一範 北海道大学大学院保健科学研究院 病態解析学分野

**教員6**

9:00～10:00 第4会場:第2会議室

座長:井越 尚子(女子栄養大学)

**教30** 入学直後の基礎学力調査から見えてきたもの

堀田 優子 新潟医療技術専門学校

**教31** 本学学生における Grit と就学状況の関係

畑本 大介 静岡医療科学専門学校 医学検査学科

**教32** 北里大学保健衛生専門学院における生物学講義の模索

小菅 優子 北里大学保健衛生専門学院

**教33** 東京工科大学における一期生の国家試験の合否と模擬試験成績の推移

亀田 貴寛 東京工科大学 医療保健学部 臨床検査学科

**教34** 教科単元ごとのまとめノート(1枚打法)を活用した教育の成果

粕川 明一 陸上自衛隊衛生学校 教育部

**教35** Japanese Original Method: 寺子屋方式「ご唱和」を活用した講義

政氏 伸夫 北海道大学大学院保健科学研究院 病態解析学分野



## 一般演題(大学院セッション) 8月18日(土) 会場:北海道大学 学術交流会館

## 院生1

9:00~10:00 第1会場:講堂

座長:小穴 こそ枝(信州大学)

- 院01** インドネシアで分離された CTX-M-15 型 ESBL 産生 *Escherichia coli* における染色体性およびプラスミド性についての分子疫学調査  
細谷 砂美子 神戸大学大学院 保健学研究科
- 院02** インドネシアの尿路感染症患者より分離されたカルバペネマーゼ産生グラム陰性桿菌の分子疫学的調査  
細谷 砂美子 神戸大学大学院 保健学研究科
- 院03** 緑膿菌の腸管経由内因性血液感染機構の解析 - I  
~トランスポゾン挿入変異株ライブラリーを用いた Caco-2 細胞層透過関連遺伝子の探索~  
小村 知央 香川県立保健医療大学大学院 保健医療学研究科 臨床検査学専攻
- 院04** 緑膿菌の腸管経由内因性血液感染機構の解析 - II  
~解糖経路関連遺伝子に着目した緑膿菌の Caco-2 細胞層透過機構の解析~  
尾島 優志 香川県立保健医療大学大学院 保健医療学研究科 臨床検査学専攻
- 院05** 緑膿菌の腸管経由内因性血液感染機構の解析 - III  
~線毛関連遺伝子群に着目した緑膿菌の Caco-2 細胞層透過機構の解析~  
猪野 楓 香川県立保健医療大学大学院 保健医療学研究科 臨床検査学専攻
- 院06** 腔頸管スワブの性器クラミジア検出率と腸内細菌科細菌 OTU 量について  
渡辺 宜典 北海道大学大学院保健科学院

## 院生2

10:05~11:05 第1会場:講堂

座長:長田 誠(群馬パース大学)

- 院07** 好酸球由来カチオン性タンパクの精製および酸化ストレス下での心筋芽細胞保護効果の検討  
西村 拓人 岡山大学大学院 保健学研究科 検査技術科学分野
- 院08** 酸化ストレス刺激による大動脈内皮細胞の増殖活性化に関する研究  
広重 和哉 山口大学大学院医学系研究科 生体情報検査学
- 院09** 播種性血管内凝固症候群(DIC)の病態形成における酸化ストレスの影響  
山崎 滯 山口大学大学院医学系研究科 生体情報検査学
- 院10** 培養血管内皮細胞が産生する VWF 上の血液型抗原に関する研究  
中村 優太 藤田保健衛生大学 保健学研究科 臨床検査学領域

**院 11** 造血器腫瘍における *RUNX* ファミリー遺伝子異常の解析

滝口 慎太郎 文京学院大学大学院 保健医療科学研究科

**院 12** 造血器腫瘍多発家系における原因遺伝子変異の解析

下村 莉子 文京学院大学大学院 保健医療科学研究科

**院生 3**

11:10~12:00 第1会場:講堂

座長:藤田 和博(大東文化大学)

**院 13** 成人一卵性双生児を対象とした腸内細菌叢と飲酒習慣に関する研究

松本 夏子 大阪大学大学院 医学系研究科保健学専攻 生体情報科学講座

**院 14** 放射線暴露マウスの腸内細菌叢及び腸管上皮組織の変化

坂本 倭 弘前大学大学院 保健学研究科 生体検査科学領域

**院 15** 農業によって修飾される免疫応答についての基礎的検討

佐宗 香奈子 名古屋大学大学院 医学系研究科

**院 16** 補中益気湯による NK 様培養細胞 KHYG-1 の細胞傷害活性評価

三輪 詩佳 徳島大学大学院 保健科学教育部

**院 17** オオバエゾモギならびにクマイササ抽出エキスが免疫機能に及ぼす影響

山田 未来 東邦大学大学院 理学研究科

**院生 4**

11:10~12:00 第2会場:小講堂

座長:橋本 克訓(名古屋大学)

**院 18** Lobular endocervical glandular hyperplasia の細胞像の数理的解析における濃度共起行列の条件(距離・量子化)検討

金井 峻 信州大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 検査技術科学分野

**院 19** プロテアソーム阻害剤と脱ユビキチン化酵素阻害剤がヒト肝癌細胞 HeG2 の細胞死に及ぼす効果

大野 恵莉菜 大東文化大学大学院 スポーツ・健康科学研究科

**院 20** HDL の性質・機能に及ぼす赤血球からのコレステロール転送の影響

笹岡 真衣 東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科

**院 21** 肝内胆管癌における TGF- $\beta$ 1,  $\alpha$ -SMA と  $\alpha$ v $\beta$ 6 インテグリンの発現解析

竹内 美穂 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科

**院 22** 蛍光色素標識プライマーによる一塩基多型検出を目的としたマルチプレックス PCR 法の確立

谷古宇 利樹 文京学院大学大学院 保健医療科学研究科 生体分子機能情報解析学

**一般演題(学部セッション) 8月18日(土) 会場: 北海道大学 学術交流会館**
**学部1**

10:05~11:05 第4会場:第2会議室

座長:伊藤 巧一(弘前大学)

- 学01** FTDP-17変異によるタウ遺伝子スプライス部位二次構造不安定化の検討  
梅木 淳祥 麻布大学 生命・環境科学部 臨床検査技術学科
- 学02** 前処理によってホルマリン固定パラフィン包埋組織から抽出したDNA分子のPCR増幅の改善が図れるか  
及川 雄太 埼玉医科大学 保健医療学部 臨床検査学科
- 学03** 学習環境改善を目的とした酵素抗体法を用いた抗核抗体スクリーニングの体験  
吉田 萌香 埼玉医科大学 保健医療学部 臨床検査学科
- 学04** 酵素抗体法を用いた抗核抗体スクリーニングの臨床応用の可能性  
河又 千智 埼玉医科大学 保健医療学部 臨床検査学科
- 学05** 抗DNA抗体は $\beta_2$ -glycoprotein Iと交差反応して血栓形成傾向の原因となり得る  
楨野 友美 東京医科歯科大学 医学部 保健衛生学科
- 学06** 抗DNA抗体は細胞表面に付着したDNAやFcレセプターを介してマクロピノサイトーシスで生細胞内に入る  
石澤 未来 東京医科歯科大学 医学部 保健衛生学科

**学部2**

11:10~12:10 第4会場:第2会議室

座長:村本 良三(埼玉医科大学)

- 学07** 臍帯血および骨髄由来 Side population (SP)細胞の血球分化能に関する研究  
川島 健太郎 弘前大学 医学部保健学科 検査技術科学専攻
- 学08** 混合アロ臍帯血移植は致死量放射線曝露個体自身の造血機能を優位に回復する  
牧 優治 弘前大学 医学部保健学科 検査技術科学専攻
- 学09** Epstein-Barr ウイルス陽性T、NK細胞培養上清は単球系及び血管内皮細胞の凝固活性を亢進させる  
立石 萌 東京医科歯科大学 先端血液検査学
- 学10** Epstein-Barr ウイルス陽性T、NK腫瘍細胞におけるウイルス由来マイクロRNAの発現と機能の検討  
呉 詩星 東京医科歯科大学 先端血液検査学
- 学11** 白血病細胞の増殖におけるカテキンの効果  
志村 佳菜 東京工科大学 医療保健学部 臨床検査学科

**学12 DMSO が白血病細胞の増殖に及ぼす影響**

川名 拓海 東京工科大学 医療保健学部 臨床検査学科

**学部3**

9:00～10:00 第5会場:第3会議室

座長:久保田 亮(埼玉県立大学)

**学13 血清グルコース測定試薬「グルコース CII- テストワコー」の性能評価**

村上 舞香 札幌医学技術福祉歯科専門学校 臨床検査技師科

**学14 女性では血清尿酸値7mg/dℓ未満でも生活習慣病のリスクが増加する  
—性差からの検討—**

木村 翼 帝京大学 医療技術学部 臨床検査学科

**学15 水の安全性を確保するために出来ること**

岡地 莉央 神戸常盤大学 保健科学部 医療検査学科

**学16 学生の目から見たネパールの医療現場**

綾部 佳奈 神戸常盤大学 保健科学部 医療検査学科

**学17 臨床検査技師に対する意識調査 —学生の視点から—**

五反田 陸美 東京医科歯科大学 医学部 保健衛生学科 検査技術学専攻

**学18 中高生が遺伝子検査技術を理解するための体験型教材の検討**

斎藤 未希 麻布大学 生命・環境科学部 臨床検査技術学科

**学部4**

10:05～10:55 第5会場:第3会議室

座長:野島 順三(山口大学)

**学19 G-CSF 遺伝子多型が好中球機能に及ぼす影響**遠藤 百恵 桐蔭横浜大学 医用工学部 生命医工学科 臨床検査学専攻  
分子病理病態学研究室**学20 bFGF による血管平滑筋細胞の遊走促進における Epac1 の役割**

近藤 伸世 東京医科歯科大学 医学部 保健衛生学科

**学21 Cullin-3 ユビキチン複合体による膜型メタロプロテアーゼ制御機構解析**

近藤 綾乃 広島国際大学 保健医療学部 医療技術学科 臨床検査学専攻

**学22 軸索誘導因子セマフォリン3F は PTEN 欠損乳癌細胞の浸潤を阻害する**

佐渡 那月 広島国際大学 保健医療学部 医療技術学科 臨床検査学専攻

**学23 Netrin-1 を標的とした新規髄芽腫治療薬の開発  
—髄芽腫モデルマウスの作成と評価—**

白石 伊織 広島国際大学 保健医療学部 医療技術学科 臨床検査学専攻

## 学部5

11:10~12:00 第5会場:第3会議室

座長:新井 智子(埼玉県立大学)

- 学24** 大腸癌細胞における軸索誘導因子 netrin-1 遺伝子発現解析  
山下 秀和 広島国際大学 保健医療学部 医療技術学科 臨床検査学専攻
- 学25** 天然ポリフェノール フェルラ酸による神経細胞保護作用の分子機構解析  
中島 海里 広島国際大学 保健医療学部 医療技術学科 臨床検査学専攻
- 学26** 自然免疫活性化甲状腺細胞死誘導機構の解明  
牟禮 優菜 帝京大学 医療技術学部 臨床検査学科
- 学27** 異なる TLR リガンド投与における D-galN 感作マウスの臓器障害傾向の違い  
御子柴 柊介 帝京大学 医療技術学部 臨床検査学科
- 学28** Myeloperoxidase による酸化修飾が高比重リポタンパクの血管内皮細胞増殖能に与える影響の解析  
横山 桃子 東京工科大学 医療保健学部 臨床検査学科

## 学部6

9:00~9:50 第6会場:第4会議室

座長:川中 洋平(広島国際大学)

- 学29** 画像解析による核異型解析法の確立と子宮内膜増殖症・子宮内膜異型増殖症の鑑別  
対馬 愛 弘前大学 医学部保健学科 検査技術科学専攻
- 学30** 子宮頸部 LBC 標本を用いた画像解析による核・細胞質の重積を考慮した核色濃度定量化の試み  
佐々木 崇矩 弘前大学 医学部保健学科 検査技術科学専攻
- 学31** 神経細胞質内の銀親和性物質(鍍銀陽性小体)に対するグルタル固定の有用性  
水田 朱音 藤田保健衛生大学 医療科学部 臨床検査学科
- 学32** PAM(Periodic Acid-Methenamine silver)染色における反応時間の短縮と染色性の安定化についての検討  
大西 悠介 大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科
- 学33** 病理組織標本における伸展条件の影響とその解析  
夏目 景生 名古屋大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻

## 学部7

10:05~10:55 第6会場:第4会議室

座長:吉岡 治彦(弘前大学)

- 学34 結晶シリカによる珪肺結節形成へのTGF- $\beta$ ・上皮間葉転換の関与  
三平 果林 麻布大学 生命・環境科学部 臨床検査技術学科
- 学35 黄砂・PM2.5による急性肺毒性:自然免疫(インフラマソーム)の関与  
片倉 加奈子 麻布大学 生命・環境科学部 臨床検査技術学科
- 学36 甲状腺髄様癌モデルマウスにおける分子標的薬スニチニブの有効性の検討  
田中 日和 名古屋大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻
- 学37 関節リウマチに対する新規抗体治療法の検討  
久保田 千晴 桐蔭横浜大学 医用工学部 生命医工学科 臨床検査学専攻  
分子病理病態学研究室
- 学38 抗CD11b抗体投与によるKO1マウスに自然発症する関節炎の抑制効果  
菱沼 春華 桐蔭横浜大学 医用工学部 生命医工学科 臨床検査学専攻  
分子病理病態学研究室

## 学部8

11:10~12:10 第6会場:第4会議室

座長:藤本 浩章(広島国際大学)

- 学39 院内感染原因菌に対する酸化チタン光触媒反応を用いたPETフィルム抗菌効果の検討  
細井 優輝 桐蔭横浜大学 医用工学部 生命医工学科
- 学40 培地の違いによる *Staphylococcus aureus* のカロテノイド系化合物抽出色素の比較  
佐藤 麻美 桐蔭横浜大学 医用工学部 生命医工学科
- 学41 ハチミツの中のボツリヌス菌の検出について  
本橋 尚樹 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 健康科学科
- 学42 酪酐症患者由来 *Candida albicans* 2株がもつアルコール産生能の評価  
関根 沙樹 帝京大学 医療技術学部 臨床検査学科
- 学43 ニブルを通して飲んだ際の、口腔から乳児用飲料内への逆流:細菌学的解析  
竹中 佑太 新潟大学 医学部保健学科 検査技術科学専攻
- 学44 日本海裂頭条虫感染の1症例報告  
工藤 裕基 北海道医学技術専門学校

# 特別講演

「“Be gentlemen!”  
—北海道大学の目指す大学教育—」

司会：齋藤 健（北海道大学大学院 保健科学研究院長）

演者：名和 豊春（北海道大学 総長）

第1会場：講堂

8月18日（土） 14:00～15:00

## 特別講演

“Be gentlemen!”  
—北海道大学の目指す大学教育

名和 豊春

北海道大学 総長

教育は、社会や国家の「百年の大計」とも言われる。

北海道大学の源となる札幌農学校の初代教頭であった W.S. クラーク博士は、「国の振興には、農業や産業も貴重だが、広い素養を有する人材の育成が最も重要である」と喝破している。

大学における高等教育は、人類が永年にわたり蓄積した「知」を次世代に確実に伝えるとともに、新たな知見を開拓し、それを吸収して人類がさらに発展し、飛躍することを目的とするものである。このことは、大学の教養教育においても専門教育においても同様である。つまり、大学教育とは、人類の幸福と安全を増進することに貢献することにある。

したがって、教育政策においては、将来の社会や時代の行方を慮り、新たな方向を創造して、人類の幸福に寄与できる有為な人材の育成を第一義とし、同時に、自由闊達で批判的、かつ様々な価値や文化を理解できる豊かな人間性を育むことが肝要となる。

今、我が国は、少子高齢化の進行による18歳人口の減少や労働人口の減少、世界経済のグローバル化、アジアを中心とする新興国の台頭による市場競争の激化に直面している。

さらに、IoT、AIやビッグデータなどの急速なICT技術の進歩による「第4次産業革命」や「Society 5.0」と呼ばれる社会・産業構造の急激な変化にも曝されている。

この様なめまぐるしく変化する社会情勢の中で、今、大学では、特定分野における専門知識だけを習得させるのではなく、産業の構造変化にも柔軟に対応し、新たな社会的価値の創造に貢献する優れた人材の育成や、スマート社会に代表されるよう、社会変革に適応するための学び直しの場を提供し、国民一人ひとりの能力や生産性を高めることが焦眉の急となっている。

すなわち、我が国の文化や社会、そして産業などの基盤を支えている大学に対し、全人格的な発展の礎を築くことができる人材の育成や、社会・経済・文化振

興エンジンとして機能することが期待されている。

また、グローバル化と科学技術が急速に変革しつづける現代では、「世界規模での優秀な人材の争奪」が繰り広げられており、大学が中心となって、産業界、行政機関などとも協働で有能な人材を育成する時代となっている。

北海道大学は、1876年の札幌農学校創設に始まる日本有数の高等教育機関として、初代教頭であった W.S. クラーク博士や、その思想を継いだ第2期生である新渡戸稲造先生などのコスモポリタンな精神が、今も脈々と息づいている。

大学への進学率が70%を超え、大学の「ユニバーサル化」が進行する現在では、各大学は、各自の建学の理念を維持し、更にその内実を時代に合わせて発展させる責務を負っている。それを具現化する方法が「ユニバーサル段階」に移行し「機能別分化」した大学の教育制度であると言えよう。

北海道大学は、札幌農学校で行われた細かな校則を排して「Be gentlemen!」の一言を校則とした、職業選択とは切り離された「いわゆる紳士、淑女としての人格を作る」ための「リベラル・アーツ」教育を実践している。

本日の学術大会において、我が国の臨床検査学を担う人材の育成について、私からの話しがお役に立てれば幸いです。



# 一般演題

(教員セッション)

## 教01 臨床検査学科の学生に対する ICT ツールを活用した アクティブラーニングの効果

○奥橋 佑基(おくはし ゆうき)、横田 恭子、細萱 茂実  
東京工科大学

**【はじめに】** 本学では2015年から ICT ツールのひとつである Moodle (Modular Object-Oriented Dynamic Learning Environment) を導入している。Moodle はインターネットを利用した教育支援・学習管理システムであり、オンライン環境があればいつでもアクセス可能であり、学生はアンケートや小テストを実施したり、講義資料を閲覧することなどができる。本発表では、血液形態学の講義において Moodle を活用した際の学習効果およびそのアンケート結果を報告する。

**【対象】** 2016年度と2017年度に本学臨床検査学科第2学年に在籍する学生158人(2016年度79人、2017年度79人)

**【方法】** 血液形態学の3回分の講義内容に対する小テストをそれぞれ10問ずつ計30問を講義の1週間前から Moodle オンライン上にアップし、講義後に小テストを満点とれるまで実施させ、その後は自由に復習できる環境にした。講義終了後に Moodle を使った感想についてアンケートを実施し、2ヶ月後に理解度確認テストを行い、学習効果を評価した。

**【結果・考察】** 講義終了後に Moodle で満点を取った後も

自主的に Moodle にアクセスして小テストを実施した学生は2016年度36人、2017年度で38人であった。小テスト実施回数は2016年度平均3.8回、最大29回、2017年度平均2.5回、最大18回であった。また、理解度確認テストの成績と小テストの実施回数は2016年度2017年度ともに比例関係がみられ、Moodle を活用したことによって学習成果が得られていることが期待できた。アンケートでは、90%以上の学生がとてもよかった、よかったと回答しており、「何回も受けられるので、問題をやっているうちに覚えることができた。」「電車の中でもスマートフォンでやるのが出来て便利だった。」「自分の理解度が確認できたので、学習の方針が立てやすかった。」などの回答が得られた。血液形態学は形態と名称を関連付けて学習する必要があり、その画像を自由に閲覧し、記憶を定着させるツールとして Moodle を活用するのは日常からスマートフォンを利用している学生にとって非常に有効であったと考える。今後は他の科目でも Moodle を活用して学生の学習意欲の向上を目指す。

## 教02 臨床検査技師と管理栄養士を志す学生による 合同症例検討演習の取り組みと意識調査

○鈴木 英明(すずき ひであき)<sup>1)</sup>、藤野 良昭<sup>2)</sup>、富永 一郎<sup>1)</sup>、野坂 匠<sup>2)</sup>、今泉 奈津美<sup>2)</sup>、小林 浩二<sup>1)</sup>、五十嵐 康之<sup>1)</sup>、笹岡 悠一<sup>1)</sup>、小杉 日登美<sup>2)</sup>

1) 北里大学保健衛生専門学院 臨床検査技師養成科、2) 北里大学保健衛生専門学院 管理栄養科

**【はじめに】** 今日の患者を中心とした質の高い医療の実践には、医療技術の高度化と専門化により複数の医療専門職で協働すなわちチーム医療が不可欠である。そのチーム医療を遂行できる人材の育成は急務であり、卒前教育としての重要性が高まっている。学校法人北里研究所では医学部をはじめ様々な医療職種を養成しており、その利点を生かしオール北里チーム医療演習を実施し本学も参画している。

**【目的】** 本学内でも複数の医療専門職を養成していることから、大規模なチーム医療を学ぶ前段階として小規模な演習を実施することでチーム医療の初動教育となるべく、臨床検査技師と管理栄養士の合同症例検討演習を取り入れた。今回、その演習の取り組みと参加者の意識調査について報告する。

**【方法】** 演習は本学の平成28年度臨床検査技師養成科2年生および管理栄養科3年生を対象とし1症例90分で行った。1週間前に課題を配付し事前学習後、1グループ10名程度に分かれ症例を討論しまとめ、発表した。演習終了後、自由記載と5段階評価によるアンケート調査を実施した。

**【結果】** アンケート結果から症例数と検討時間は90分で1症例が望ましいことが分かった。演習のために費やした事前学習時間は1時間程度が多く、全くしなかった学生も数名いた。83%の学生が今回の演習によって検討症例を理解できたと答え、71%の学生がグループワークに参加できたと答えた。しかし、全く参加できなかったと9.2%が回答した。他学科に説明することに難しさを覚え、調べるだけで終わるのではなく他分野に広げて勉強するなど事前にもう少し勉強するべきだったと反省の声が多かった。

**【考察】** 今回、2つの学科間での症例検討を実施し、参加者は他学科を理解すると共に尊重する意識が芽生えたように思えた。一方で、検査内容は詳しいが他の既往歴、現病歴、生活歴等を示して欲しいなどの要望があった。今後は、それぞれの学科能力が活かされる症例を提示し、1グループの人数を少人数にするなど学生同士が積極的に討論できる環境をつくる必要があると、本学の他学科も巻き込んだ演習を計画していきたい。

**広告掲載企業・団体**

(広告形態毎の申し込み順)

一般社団法人 日本食品安全協会

株式会社 近代出版

株式会社 ムトウ

株式会社 京都科学

医歯薬出版株式会社

セラビジョン・ジャパン株式会社

株式会社 ラーンズ

**協賛企業・団体**

(申し込み順)

ミヤリサン製薬株式会社

医歯薬出版株式会社

栄研化学株式会社

## 第13回日本臨床検査学教育学会学術大会抄録集

---

平成30年8月1日発行

編集責任者：大 会 長 山口 博之  
実行委員長 加賀 早苗  
学術・企画 山口 博之 岡田 一範 加賀 早苗  
総務・会計 政氏 伸夫 大久保 寅彦  
設営・運営 政氏 伸夫 小畑 慶子 櫻井 俊宏

事 務 局：北海道大学大学院保健科学研究院内  
第13回日本臨床検査学教育学会学術大会 事務局  
〒060-0812 札幌市北区北12西5  
TEL：011-706-3384  
E-mail：jamte13-office@pop.med.hokudai.ac.jp

出 版：株式会社セカンド  
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F  
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025  
<http://www.secand.jp/>